

こっこめ通信 08 2016

「今ならすぐ見つかるかも」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

7月28日、ようやく関東甲信地方の梅雨明けが発表されました。今年の梅雨は54日間ととても長かったですが、八丈島は東海地方が梅雨明けした18日頃から夏空が広がりだしていました。6月5日から7月28日までの八丈島の降水量は451.5mm。平年梅雨期間の約86%と梅雨の期間が長い割に降水量が少なかったです。雨の降らない日も多く、野菜を作っている方が「雨降ってくれないかな～」と言っているほどでした。

さて今回は、「わいら島っ子、島育ち」「葉っぱのザラザラ、猫の舌？」のお話です。

わいら島っ子、島育ち

島に一年中いる鳥や繁殖のために島に渡って来ている鳥たちの幼鳥、島っ子たちがすくすくと育ち、姿を見せてくれるようになってきました。

公園内でも見られる**アカコッコ**の幼鳥は、お腹側がマダラ模様で、顔がまだ黒くありません。秋頃には大人の顔に変わってくるでしょう。

写真の**ウグイス**はまだ親と一緒に行動していた春頃のもの。今は独り立ちしてヤブの中を飛び回っているはずです。

林道を車でゆっくり走っていると、好奇心で近づいてくるのが**タネコマドリ**。エンジンを切ってジッと待っていると、こちらの様子をうかがいにさらに近づいてくることもありますよ。**オーストンヤマガラ**もいますが、近頃は警戒心が強くなり、遠くで「ジェジェ」と鳴いています。

イジママシクイと**カワラヒワ**は繁殖のために渡って来た鳥。二種共にある程度大きくなしないと姿を見せてくれません。特にイジママシクイ親子は生い茂ったヤブの中を移動するので、撮影するのも一苦労。最近では親と同じ大きさに育っていますが、尾羽の短さで幼鳥であることが分かります。カワラヒワは道路脇や園地にいることもあるので見つけやすいです。

ウミネコは八丈小島の宇津木地区で繁殖しています。飛べるようになると八丈島までやって来ますが、まだまだ甘えん坊。漁港や園地では、親鳥に近づきながら「ピーピー」と鳴く声が遠くからでもわかります。

3ページ目で紹介している**アオバズク**はあまり姿を見ることがない鳥ですが、日が暮れ始めた頃から鳴き声が聞こえてきます。今年は5箇所で見つかりました。今頃はきっと巣立った雛が親と一緒に行動しているのではないのでしょうか？親子で一緒にいる姿見てみたいです。

夏の間はまだ見られる島っ子たち。ちょっと探しに行ってみては？



「アカコッコ」は日本固有のヒタキ科（旧ツグミ科）の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

葉っぱのザラザラ、猫の舌？

下の二つの植物は同じ植物でしょうか？一見すると同じように見えますが、よく見ると違いがわかります。



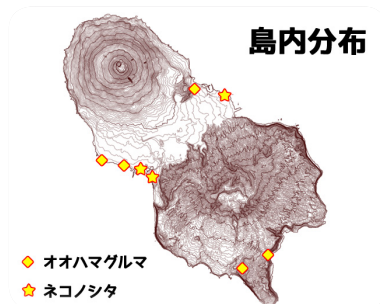
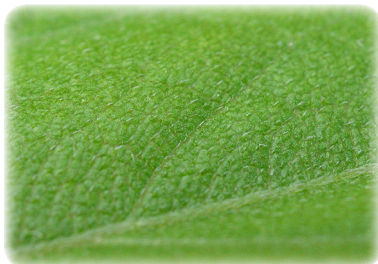
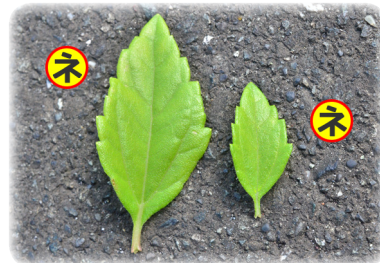
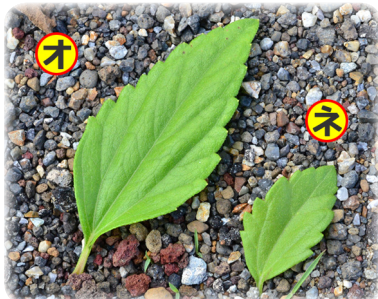
写真左は「オオハマグルマ^オ」、右は「ネコノシタ^ネ」。共に海岸沿いで見られるキク科の多年草です。とても似ている植物ですが、いくつか違いがあります。

まずは“頭花”。頭花の大きさはオオハマグルマの方がネコノシタよりも大きく、舌状花冠（花びらのように見えるもの）も少し長いようです。写真では舌状花の数かなり違いますが、舌状花の多いオオハマグルマもあります。また、茎の先の頭花の数がオオハマグルマは3個、ネコノシタは1個。ネコノシタには稀に3個ついていたものもありました。島では花期にも少し差があり、オオハマグルマが先に咲き始め、少し遅れてネコノシタが咲き出します。

“葉の形や大きさ”にも違いがあります。オオハマグルマは卵形で先が尖り、ネコノシタは長楕円形（写真左）。大きさもオオハマグルマの方が大きくなります。ネコノシタも場所によって少し大きな葉もありました。共に葉の両面に短い剛毛があり（写真左下）、触るとザラザラとしていて猫の舌のようです。「ラセイタソウ」や「ラセイタタマアジサイ」などの葉もザラザラとしていますが、オオハマグルマとネコノシタは、まさに猫の舌の感触です。

“瘦果（そうか）”の大きさにも違いがあるようですが、今回は未確認です。

右の地図は分かっている島内の分布です。オオハマグルマは広範囲にありますが、ネコノシタは限られた場所で見られます。猫の舌のような葉っぱを探しながら、違いを確認してみてください。



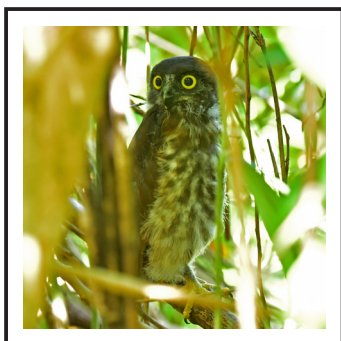
八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。今回は 7 月 10 日に行いました。

八丈植物公園季節調査（平成 28 年第 7 回）参加者・沖山美，青木，金田，土屋，VC 菊池

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
草本			草本			シダ植物		
1	アオツツラフジ	花	31	ハハコグサ	花と実	1	ウチワゴケ	
2	アオノクマタケラン	花	32	ヒナギキョウ	花と実	2	オオイタチシダ	
3	アシタバ	花	33	ヒメクグ	実	3	オオタニワタリ	
4	アメリカスズメノヒエ	花	34	ヒメヒオウギズイセン	花	4	オニヤブソテツ	
5	イガガヤツリ	花	35	ヒメヨツバムグラ	花と実	5	タチク라마ゴケ	
6	イヌガラシ	実	36	ブラジルコミカンソウ	花と実	6	タチシノブ	
7	ウスベニニガナ	花と実	37	ヘラバヒメジョオン	花	7	タマシダ	
8	ウラジロチチコグサ	花	38	ホソバツルメヒシバ	花	8	ナチシケシダ	
9	ウリクサ	花	39	メヒシバ	花	9	ノキシノブ	
10	オオアレチノギク	花	40	ヤハズソウ	花	10	ハチジョウウカナワラビ	
11	オオバコ	実	41	ヤマカモジグサ	実	11	ハチジョウシダ	
12	オニタビラコ	花				12	ハチジョウウベニシダ	
13	オニドコロ	花	木本			13	ヒトツバ	
14	オヒシバ	花	1	アカメガシワ	若い実	14	ホシダ	
15	カタバミ	花と実	2	イヌビワ	実	15	ホラシノブ	
16	ケキツネノボタン	花と実	3	オオバヤシャブシ	実	16	マメヅタ	
17	コゴメガヤツリ	花	4	オオムラサキシキブ	花	17	ミゾシダ	
18	コナスビ	花と実	5	ガクアジサイ	花	18	ヤマイタチシダ	
19	コニシキシソウ	花と実	6	スダジイ	実と虫こぶ	19	ワラビ	
20	ザクロソウ	花と実	7	トベラ	実	今回はシダ植物 19 種を含む 75 種の植物を観察しました。久しぶりに観光客の方の参加があり、いつもとは少し違った雰囲気の観察会となりました。アオスジアゲハのペアが目まぐるしく飛び回るのが目立ちました。		
21	シチトウスミレ	実	8	ハゼノキ	実			
22	シマスズメノヒエ	花	9	ヒサカキ	若い実			
23	シロツメクサ	花	10	ヒメユズリハ	若い実			
24	タケダグサ	花	11	ホウライカズラ	花と虫こぶ			
25	タチスズメノヒエ	実	12	ホルトノキ	咲き始め			
26	トウバナ	花	13	モチノキ	実			
27	ナギナタガヤ	花	14	ヤブツバキ	実			
28	ニワゼキシショウ	実	15	ヤブニッケイ	若い実			
29	ヌカボ	実						
30	ネジバナ	実						

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、「アオバズク」にスポットを当ててみたいと思います



アオバズク *Ninox scutulata japonica*

フクロウ科の鳥で、夏鳥として全国に渡来しますが、奄美諸島や琉球諸島では亜種リュウキュウコノハズクが留鳥としてみられます。

八丈島では夏鳥として渡ってきていると思われますが、冬にも見られるので冬鳥として渡ってくるグループがあるのかもしれませんが。もしかして一年を過ごしている留鳥の可能性も？。写真は今年の幼鳥。

八丈島では亜種チョウセンアオバズクの採集記録もあります。

2016 八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

8

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
	光るキノコ観察会 03:50 10:48 17:43 23:11	04:40 11:30 18:19 23:50	夏休み特別行事 「潮だまり探検隊」 05:25 12:08 18:51	光るキノコ観察会 06:05 00:27 19:21 12:44	光るキノコ観察会 06:44 01:01 19:49 13:16	ガイドウォーク 光るキノコ観察会 07:21 01:34 20:15 13:46
立秋 7	8	9	10	11	12	13
ガイドウォーク 夏休み特別行事 「三原山縦断トレッキング」 07:58 02:08 20:41 14:15	光るキノコ観察会 08:37 02:45 21:09 14:44	09:23 03:27 21:39 15:14	10:22 04:19 22:16 15:50	ガイドウォーク 夏休み特別行事 「潮だまり探検隊」 11:52 05:26 23:07 16:41	光るキノコ観察会 13:53 06:49	ガイドウォーク 夏休み特別行事 「夏の星空観望会」 00:21 08:06 15:21 20:08
14	15	16	17	18	19	20
ガイドウォーク 「植物公園 季節調査会」 01:41 09:05 16:11 21:23	光るキノコ観察会 02:45 09:51 16:49 22:12	03:37 10:32 17:22 22:51	04:23 11:10 17:54 23:28	夏休み特別行事 「潮だまり探検隊」 05:06 11:48 18:26	光るキノコ観察会 05:49 00:05 18:58 12:25	ガイドウォーク 光るキノコ観察会 06:33 00:42 19:30 13:03
21	22	処暑 23	24	25	26	27
ガイドウォーク 夏休み特別行事 「子供クラフト教室」 07:18 01:22 20:02 13:40	光るキノコ観察会 08:06 02:04 20:35 14:18	08:57 02:50 21:10 14:56	09:59 03:43 21:50 15:39	光るキノコ観察会 11:23 04:48 22:41 16:33	光るキノコ観察会 13:22 06:09 23:58 18:06	ガイドウォーク 八丈学講座 「島の天気を知ろう」 光るキノコ観察会 15:08 07:38 20:13
28	29	30	31			
ガイドウォーク 夏休み特別行事 「子供クラフト教室」 01:33 08:53 16:07 21:32	光るキノコ観察会 02:51 09:49 16:46 22:21	03:49 10:34 17:19 22:59	04:37 11:13 17:49 23:33		この色の日は ガイドウォークや 特別行事があります	

イベントプログラム

夏休み特別行事 「潮だまり探検隊」	潮だまりに棲む生きものを採集してみんなで観察します。濡れても良い格好で！サンダルは不可 8/3と8/18（10:00～ 約2時間）小学生と保護者 現地集合・解散（当日決定）参加費：50円 定員：15名
夏休み特別行事 「三原山縦断トレッキング」	夏の恒例トレッキング！三原山を縦断します。標高の高い場所は少し涼しいですよ！ 8/7（9:30～ 約6時間）小学生以上（低学年は保護者同伴） ビジターセンター集合・解散 参加費：500円 定員：20名
植物公園季節調査会	植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！ 8/14（13:30～ 約1時間半）中学生以上 ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名
夏休み特別行事 「夏の星空観望会」	夏の 大三角形 など夏を代表する星の観望会です。みんなで ペルセウス座流星群 の数を数えましょう！ 8/13（19:30～ 約1時間半）小学生以上（低学年は保護者同伴） ビジターセンター集合・解散 参加費：50円 定員：20名
子供クラフト教室 「紙すき～自然の色を楽しもう～」	毎年恒例の子供クラフト教室。牛乳パックからパルプを取り出し、自然の色で染めてハガキを作ろう！ 8/21（13:30～ 約1時間半）小学生（低学年は保護者同伴） ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：10名
八丈学講座 「島の天気を知ろう」	毎月行っている八丈学講座。今月は、 台風の通り道でもある八丈島、島の天気はどんな特徴があるの？ 8/27（13:30～ 約1時間半）中学生以上 ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：15名
子供クラフト教室 「フォトフレームを作ろう」	毎年恒例の子供クラフト教室。 海や山の素材を使って夏の思い出を飾るフォトフレームを作ろう！ 8/28（13:30～ 約1時間半）小学生（低学年は保護者同伴） ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：10名

夏休み特別行事 「光るキノコ無料観察会」	～8/29（8/2, 3, 9, 10, 11, 16, 17, 23, 24, 30, 31は休止） 受付時間：19:20～20:00 受付締切は20:00です。植物公園メインエントランス集合 無料 NPO法人八丈島観光レクリエーション研究会等のボランティアガイドがご案内いたします。
-------------------------	---

ビデオプログラム

10:00～	八丈・海・生きものたち
11:00～	おじゃりやれ 八丈島
14:00～	おじゃりやれ 八丈島
15:00～	おじゃりやれ 八丈島
16:00～	八丈・海・生きものたち
上記以外での上映は予約にて可能です	

東京都八丈ビジターセンター 2016.8.1 第183号

開館時間 9:00～16:45 年中無休（入場無料）
〒100-1401
東京都八丈島八丈町大賀郷2843
電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

編集後記

ずっとずっと撮影したかったアオバズク。いろいろなところを探しても見つからず、諦めていました。しかし今年は運もあり、成鳥の昼間の姿も巣立った幼鳥の姿も撮影することができました。来年は繁殖を通してしっかりと観察してみたいです。（高）